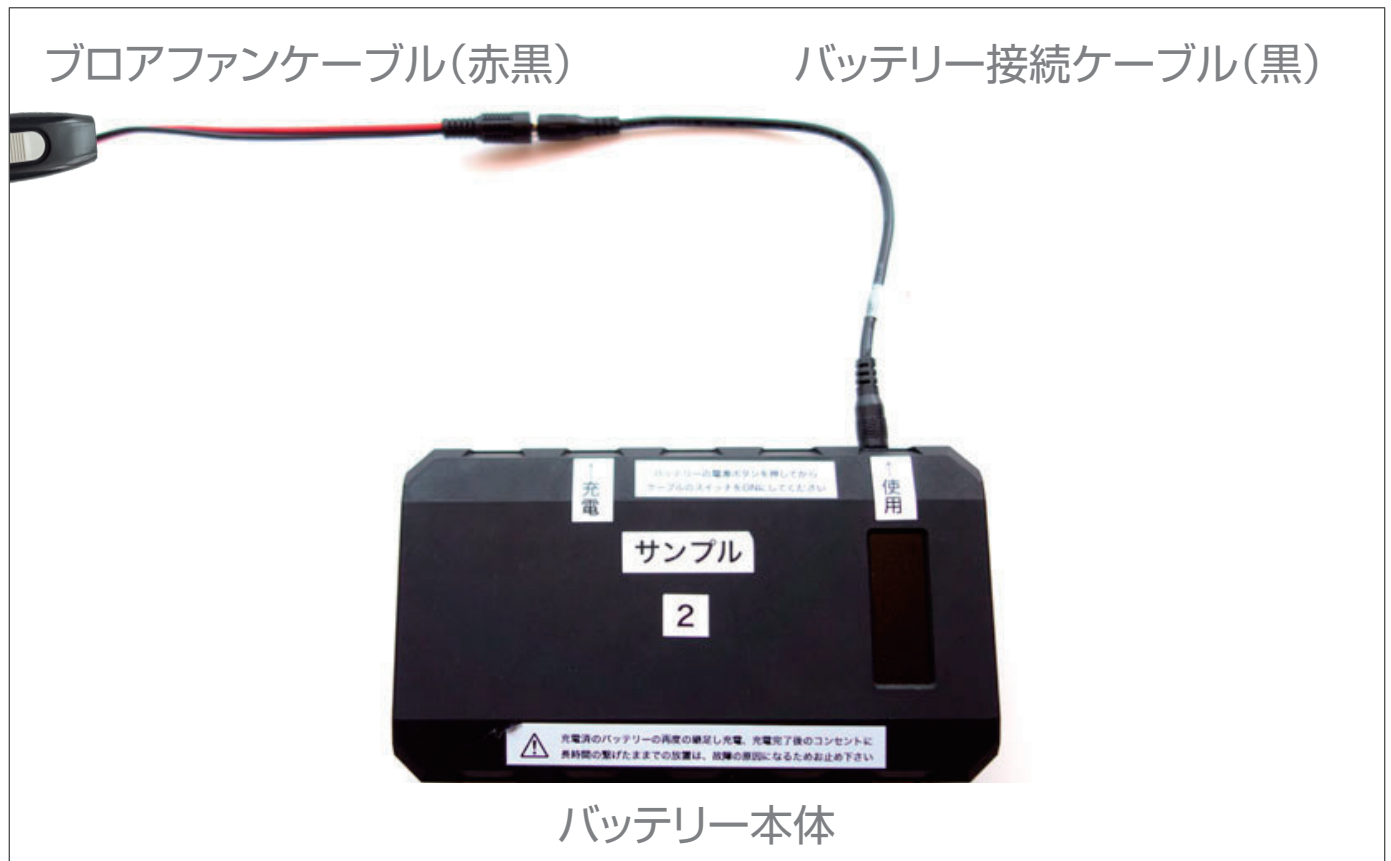
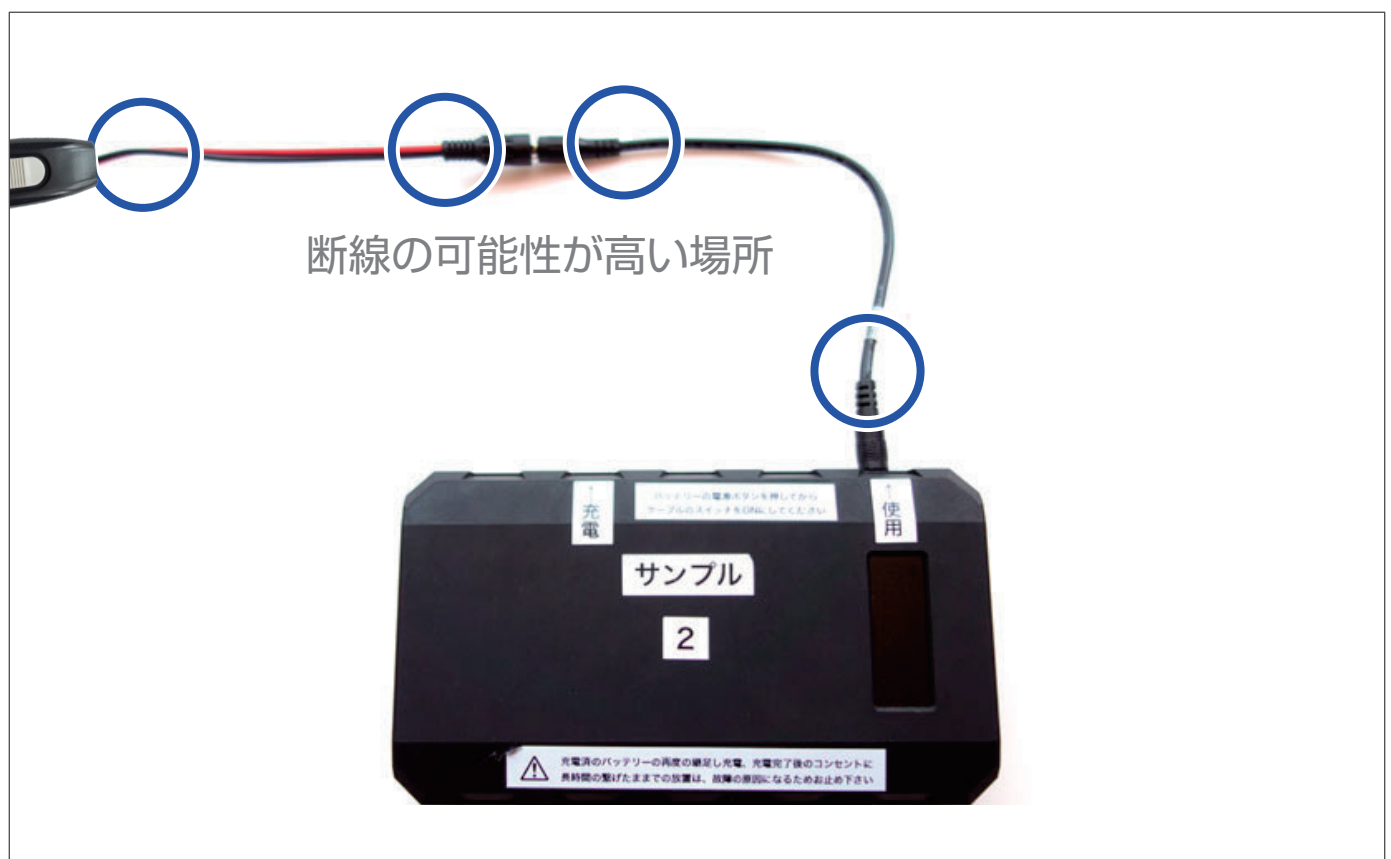


ブローファンが動かなくなった場合、ケーブルの断線の疑いがあります。
度重なる曲げによる疲労や極度の外力、また錆や劣化によりケーブルの被膜内の銅線(線材)がちぎれて導通が無くなることを断線と言います。



まずはどの部分が断線しているかを調べます。
断線の可能性が高いのは、負荷がかかりやすい「接続プラグの根本」「スイッチの付け根」です。





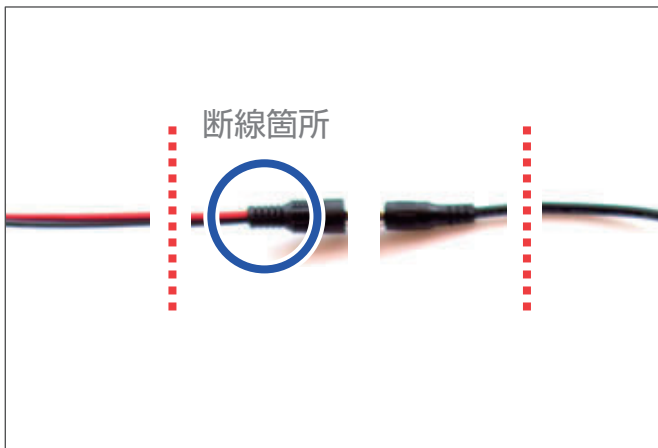
最初に、バッテリー接続ケーブルを予備のケーブルと交換してみてください。バッテリー接続ケーブルが断線している場合は、この部分を交換するだけですぐに回復します。

バッテリー接続ケーブルを交換しても動かない場合は、ブローファン側の赤黒の配線が断線している可能性があります。



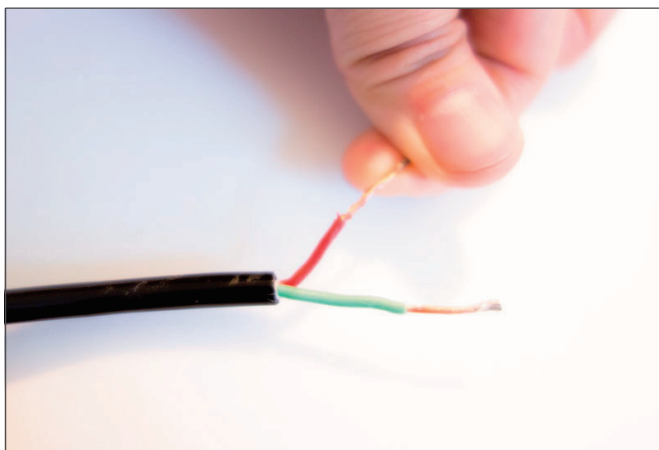
銅線が完全にちぎれていない場合、断線箇所をひねったり押したりすると、ブローファンが動いたり、止まったりを繰り返します。

時間に余裕がある場合は、ブローファンのみご送付いただくことで補修対応をしますが、イベントが目前に迫っている場合は、一時的に使用できるように応急処置が必要となります。



まずは、ブローファン側のケーブルの断線している箇所から先を切断します。

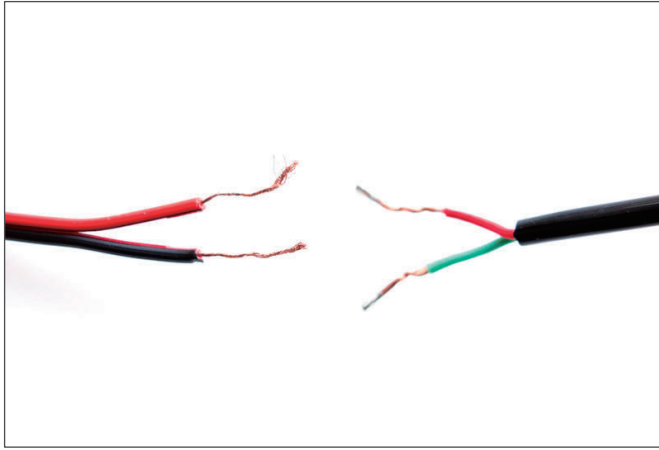
次にバッテリー接続ケーブルの片端を切断します。



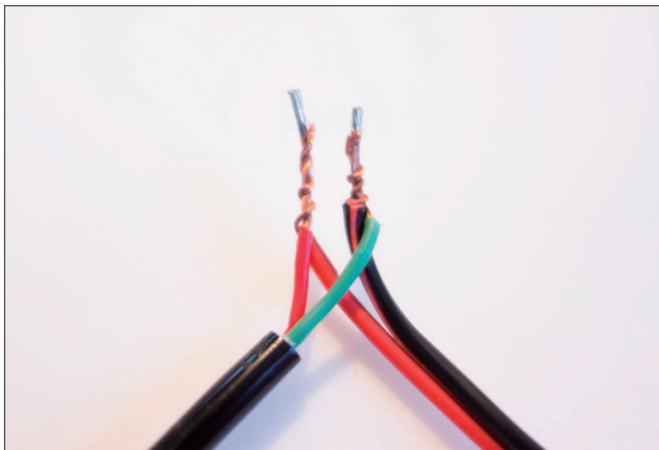
カッターでケーブルの皮膜を2cm程剥きとります。バッテリー接続ケーブルの方は、被膜が2層あるので、外と内の被膜を剥き取り、中の銅線を同じくらい剥きとります。

この時に、銅線を切ってしまうないように気をつけて慎重に作業してください。

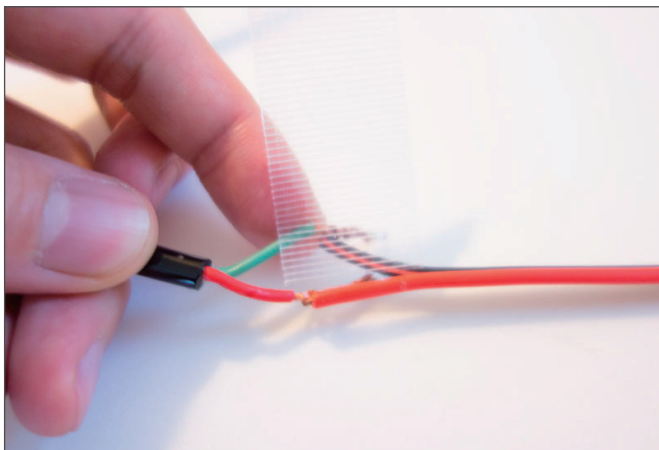
剥き出しになった銅線がバラバラにならないよう、それぞれねじって整えます。



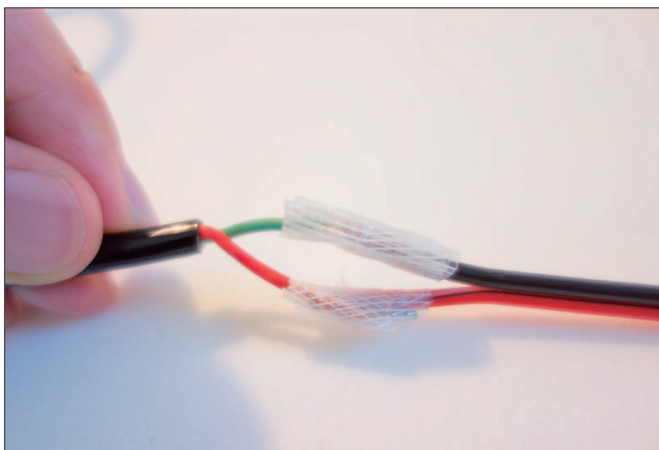
ブロアファンとバッテリー接続ケーブルの両方を同じように剥いた後、銅線をつなぎます。



赤と赤(プラス)・黒と黒(マイナス)の銅線同士を繋いで、ねじってまとめます。
(マイナスの配線は、緑や青の場合もあります。)



プラス・マイナスの銅線が接触してショートが起きないように、それぞれをテーピングします。
ビニールテープなどが望ましいのですが、無ければ養生テープやガムテープなどで代用します。



それぞれの銅線をテープで巻いたら完成です。
イベント中、配線を引っ張らないように気をつけてください。
イベントが終わった後、修理に出してください。
補修内容は、「ブロアファン配線交換」と、必要があれば「バッテリー接続ケーブルの購入」です。